

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 				
営業時間		13 時 30 分 から	18 時 0 分 まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容						
支援方法		個別課題		集団・小集団課題		
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 生活スキルとしての清潔の維持や身だしなみ管理の課題 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題 災害時の対応を身に着ける課題 		<ul style="list-style-type: none"> 危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 健康的な生活を送るための基本的な生活習慣・良いルーティンを知る活動 身だしなみや清潔保持に関する知識習得のための活動 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 活動時や課題実施時の姿勢保持の課題 身体全体の機能向上のための粗大運動(例:ハードル、サーキット運動等)の課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題 		<ul style="list-style-type: none"> 指先の感覚や操作に関わる活動(粘土、紙やぶき、箱の中身はなんだろう?等) 模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等) 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 数字の理解や計算の習得に関わる課題 金銭の概念や計算についての理解に関わる課題 金銭の概念や計算についての理解に関わる課題 		<ul style="list-style-type: none"> 数字の理解に関わる活動(全部でいくつ?、数字当てゲーム、ビンゴゲーム等) 金銭の理解に関わる活動(お買い物練習、金額当てクイズ等) 色や図形を用いた活動(ブロック、パズル等) 		
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 文字や文章の読み書きの理解のための課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題 		<ul style="list-style-type: none"> 口頭での指示理解や説明内容の理解のための活動(スリーヒントクイズ、メモをとってみよう) 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等) 人との相互理解のコミュニケーション活動(顔き、拍手、OKサインの活用等) 		
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> 社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST) 生活場面で必要な場面理解や他者の感情理解の課題(SST) 自身の感情理解やコントロールとしての切替・クールダウンに関する課題 		<ul style="list-style-type: none"> 自己理解・他者理解のための活動(自己紹介をしてみよう、気持ちの良い言い方・伝え方、クッション言葉、アサーション等) 他者と自分の関係性や距離感の理解のための活動(パーソナルスペース、プライベートゾーン) 複数の利用者同士の適切な関わり方の理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等) 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 保護者のみならず、家族全体と本児の関係性に加えて、家庭での困りごとについて整理をし、実際の様子を家庭訪問や口頭で共有を行う事で、その都度有効な対応を検討し、提案していく。 家族の就労等の預かりニーズに対応するために、当事業所を利用することで、課題に取り組み、家庭でも同様に対応が出来るように繰り返し支援をしていく。 		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 学校、他事業所と利用者に対して支援対応を一貫するために、対応方法について定期的に連携を行う。 今できるようになっておきたい事、将来できるようになりたいことを整理し、行っている当事業所での支援内容を学校や他事業所と情報共有し、同じ目標のもと支援を行えるようにする。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 学校での課題を確認したうえで、それに合わせた本事業所での対応を他機関に連携することで、実践的な支援に繋げる。 学校とご家庭での課題が違う場合、原因について検討・共有・新たな支援を提案する役割を担うことで、それぞれの環境での適切な対応、また出来る範囲で統一された対応を促し、利用者の成長に繋げる。 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 経年数別別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。
主な行事等		課外活動、避難訓練、お買い物ごっこ、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、大掃除等				